

PRP 療法とは

●PRP 療法

PRP (Platelet Rich Plasma) 療法は再生医療の一つで、自身の血液に含まれる血小板を膝に注射する治療法です。

血小板に止血作用があることは知られていますが、実はそれだけではなく、傷が治癒するまでの過程にも関与しています。この働きに着目して誕生したのが、血小板を豊富に含む多血小板血漿(PRP)を用いた治療なのです。

PRP 療法は、『自分で自分を治す力 (自然治癒力) をサポートする治療法として、ヨーロッパやアメリカでは頻繁に行われている治療法です。自分の血液を約 50cc とり、特殊な技術を用いて血液中の血小板が多く含まれる部分のみを抽出し、自己 PRP を作成します。この PRP の中には、成長因子が豊富に含まれていますので、これを自分の身体の傷んだ部分に注射することにより、その部分の組織の修復が促進され、『早期治癒』や『疼痛の軽減』効果をもたらします。また治療後のリハビリの効果を高めます。

●膝の痛みに対する多血小板血漿 (PRP) 治療

例えば、『膝の変形』で悩んでいる方は、PRP 療法の適応です。変形性膝関節症では、変形の進行に伴い、軟骨がすり減ったり、半月板が傷んだり、炎症が起きてひざに水がたまったりします。PRPはこうした組織の修復を促したり、関節の炎症を抑制したりする効果が期待できます。

これまでは、変形性膝関節症の方に対する薬物療法としては、痛み止めの内服やヒアルロン酸の注射などを行ってききましたが、こうした既存の治療が無効であった方の中にも、PRPを関節に注射することにより痛みが取れる方がいることが分かりました。ただ効果がある方は全体の60%です。ご自身の血液を使うため、血小板の活性が高い／低いなどの因子が効果に影響を及ぼすのではないかと考えられていますが、まだ明らかにはなっていません。また、膝の変形が重症な方(関節の隙間が無くなっている方)や、肥満の方ではPRP療法の効果が低下します。しかし、非常に副作用の少ない治療ですので、数ある保存加療のうちの一つの選択肢として、特に既存の治療法への反応が乏しい方への実施をお勧めしています。

●種類

- ・ PFC-FD (2.0) *成長因子が多く入っている

・ P F C - F D

●費用

・ P F C - F D (2.0)

1 部位： ￥ 1 5 0, 0 0 0 (税込)

検査代： ￥ 1 5, 0 0 0 (税込)

・ P F C - F D

1 部位： ￥ 1 2 0, 0 0 0 (税込)

検査代： ￥ 1 5, 0 0 0 (税込)

* 注意点

・ 感染症検査 (H I V ・ H B V ・ H C V ・ 梅毒 ・ H T L V - 1) が陽性だった場合は、

製造できません。その際は検査費用のみご負担いただきます。

・ 悪性腫瘍で治療中の患者さまは、治療の適応外となる可能性があり、医師の慎重な判断が必要となります。

・ 血液の状態によっては、ごく稀に作製ができない場合もあり (輸送トラブル等)、その際には、再度採血が必要となる可能性があります。

詳しくはこちらをクリックしてください。



[PFC-FD 療法 \(seikei-online.jp\)](http://seikei-online.jp)

この治療に関してのお問い合わせは、当院窓口にてお願いします。